

議会ウォッチ



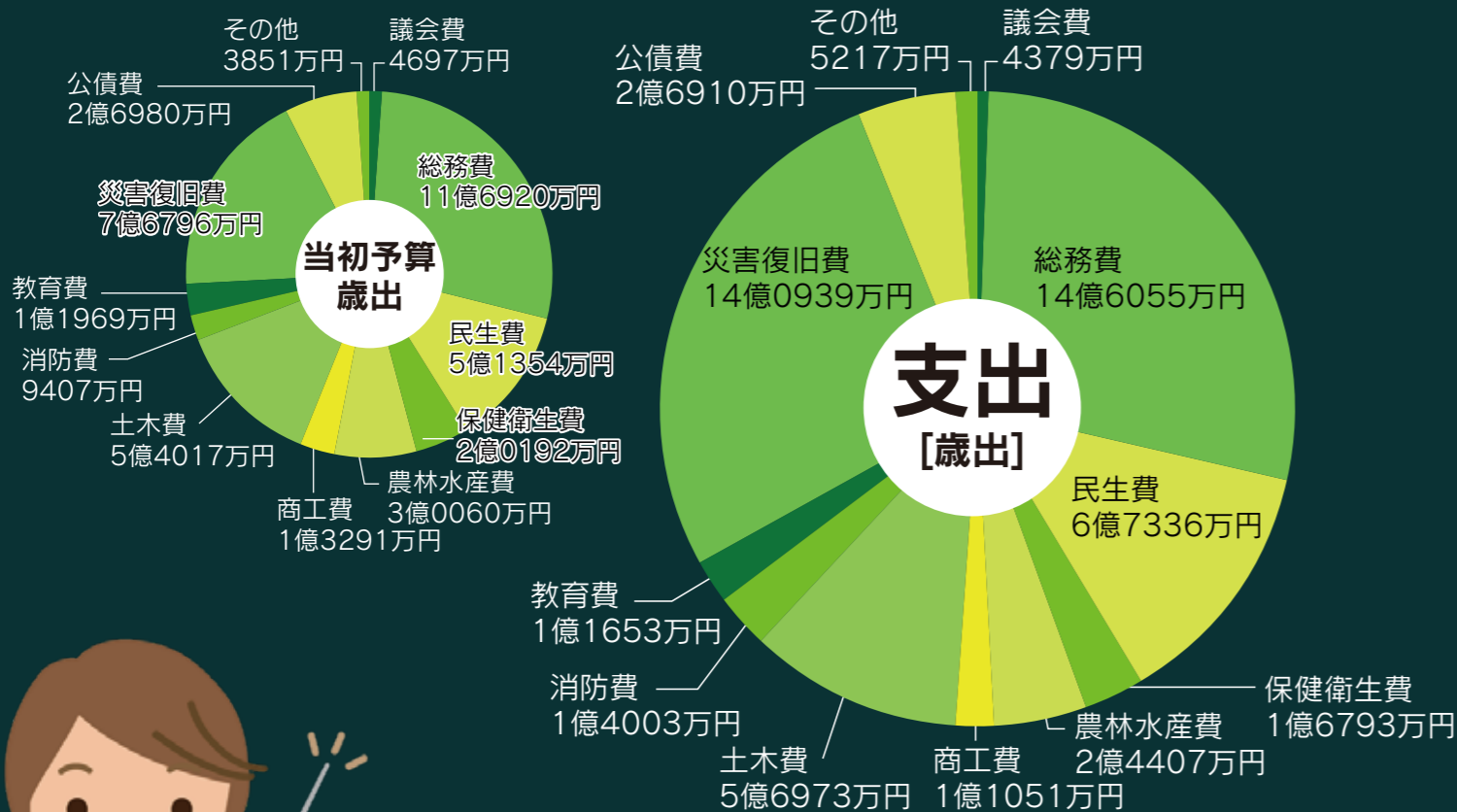
ココに注目!

9月定例会トピックス P2

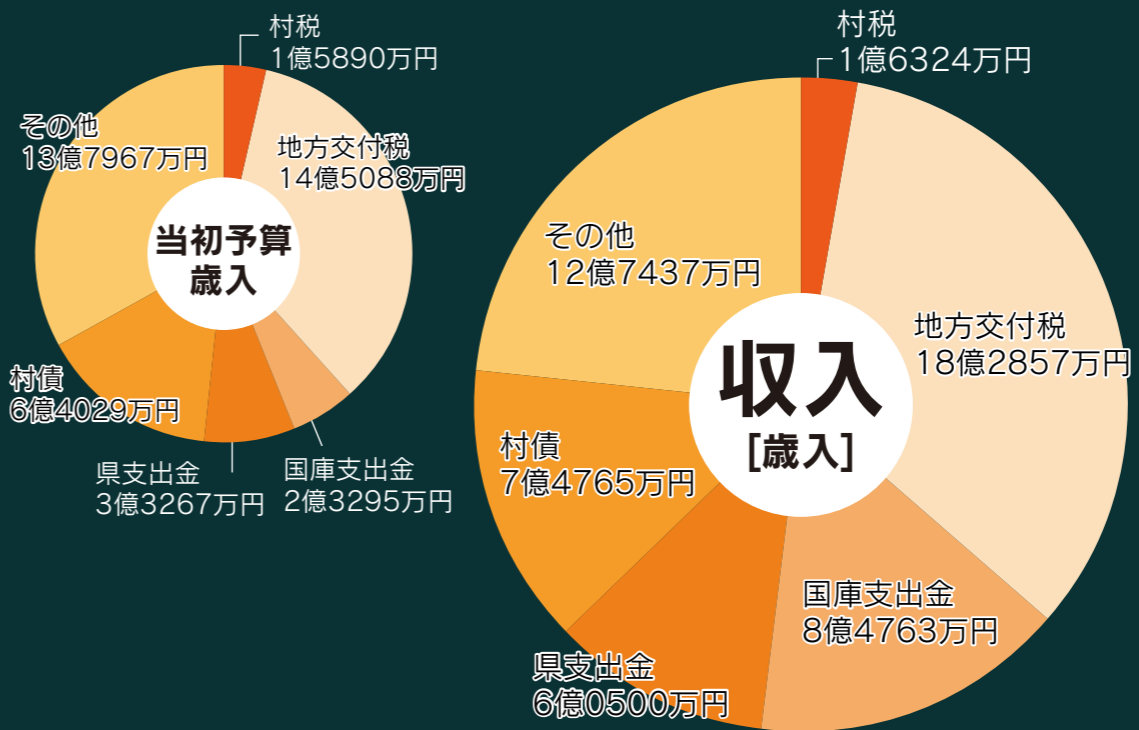
議決結果一覧 P6

ここが聞きたい P7

令和2年度一般会計



支出総額 52億5721万円
(内 災害関連 13億9355万円)



収入総額 54億6649万円



- ① 広報車1台(EV車)及び充電スタンド 2式購入 501万円
新しい生活様式啓発の為に広報車として活用
- ② 配布物自動包装机 1台購入 65万円
感染防止のため、配布物の自動袋詰化支援の為



広報車

総務課【6事業の内2事業抜粋】

- ① 子育て応援事業 274万9千円
子育て応援支援 (0才〜18歳まで) 252人×1万円 (クオカード)
- ② 保育園支援事業 237万8千円
① 0〜3歳までの児童の保育料無償化 8月〜3月の8か月間 副食費支払い 該当児童の無償化

保健福祉課【4事業の内2事業抜粋】

令和2年度
新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金事業は
何に使われたのか
受け入れ分交付金総額
1億1223万2千円

◆簡易水道事業特別会計

歳入総額 1億1303万円
歳出総額 9591万円

◆国民健康保険事業特別会計

収入総額 3億5184万円
支出総額 3億0794万円

◆後期高齢者医療特別会計

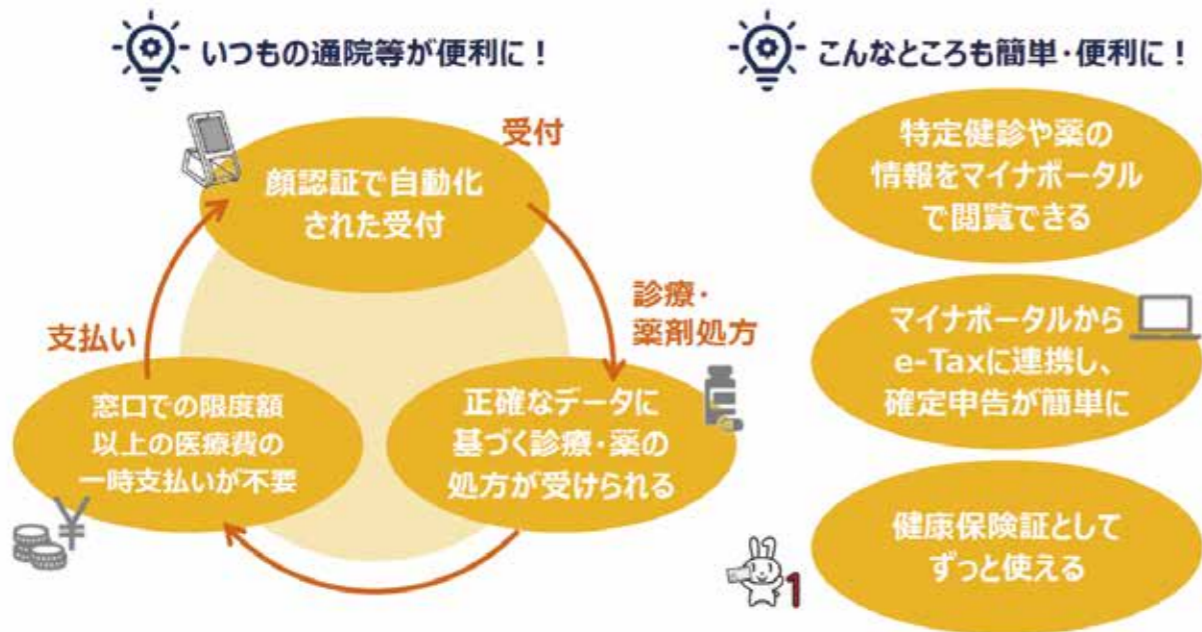
収入総額 3822万円
支出総額 3779万円

オンライン資格確認システム導入費

国では、医療機関・薬局の窓口で患者の直近の資格情報等(医療保険や自己負担限度額)を確認することや、より良い医療を受けられる環境を作るため、マイナンバーカードを保険証として利用するオンライン資格確認システムにての導入を進めています。

小石原診療所においても、マイナンバーカードで健康保険証として使用できるようにするための事業費です。
(令和4年4月1日より導入予定)

通院においても、その他の場面でも
マイナンバーカードの健康保険証利用で便利になります



患者のメリット

- ・保険者が変更になっても、新しい健康保険証発行を待たずに医療機関の受診ができる
- ・限度額認定証の申請が不要になり、限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなる。

注意

マイナンバーカードを発行をする必要があります。
マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、マイナポータル※で保険証利用の申し込みをすることが必要です。
(※マイナポータルとは・・・政府が運営する子育てや介護をはじめとする、行政手続の検索やオンライン申請がワンストップできたり、行政機関からのお知らせを受け取れたりする、自分専用のサイトです。)

(東峰村でのマイナンバーカードの交付率は、438件で約22%)



※イメージ



移動スーパー

- ①地域の生活支援事業 (移動スーパー) 38万6千円
 - ②美しい村維持事業 281万4千円
 - 乗用草刈機1台
 - 歩行式草刈機1台
 - ブラシ式除草機1台
- ※貸出は団体に限る。

企画政策課
【4事業の内
2事業抜粋】

- ①特別定額給付金 (事業者版) 1370万円
 - ②小石原焼福袋 770万円
 - ③飲食店支援事業 101万4千円
- 陶器代1万1千円の7割助成
7700円×1000袋
- 売り上げが大幅に減少している飲食業等を応援する為、小石原焼福袋に10000円の食事を付与(村内全飲食店共通利用)
- 村内に居住する事業者または農業者に一律10万円支給
主な収入が事業収入の事業者を対象【法人・個人(農業者含)】

農林観光課
【10事業の内
3事業抜粋】

- ①家庭学習支援事業 164万2千円
 - ②スクールバス輸送能力増強事業 822万8千円
 - ③学童ちゃんねる支援事業 190万1千円
- 遠隔・オンライン学習の環境整備の為、学習用タブレット30台・モバイルルーター14台購入
- 密集を避けるため中型29人乗りバス1台購入
- 児童生徒に向けた授業動画制作、配信を行うための機材等導入
- 動画制作編集用パソコン
動画制作の機材
動画サイト制作費・HP作成
制作動画のDVD作成及び各児童生徒に配布

教育課
【5事業の内
3事業抜粋】

住民税務課

- ①特別定額給付金 100万円
- 令和2年4月28日〜令和3年3月31日までに生まれた子対象者10名



スクールバス

ここが聞きたい!

一般質問

令和3年東峰村議会第8回(9月)定例会 一般質問

質問順	議員名	質疑事項(色付きは記載事項)	ページ
1	泉 守	村道の改修工事について	P8
		道の駅の前の道路の測量について	
		宝ヶ谷の梨園の隣接について	
2	梶原 伯夫	安心安全な村作りについて	P9
		スクールバス運行について	
		教育事務について	
3	高橋 弘展	集落の維持について	
		地域交通について	
		産業の承継について	
		村の未来戦略について	
4	高倉 寛視	陶器コーディネーター事業について	
		学校教育について	
5	長澤 貞義	基金の運用状況について	P10
6	伊藤 均	29年以降の村政について	P11
		高齢者への生活支援について	

※前高橋議員、高倉議員の一般質問は本人の申し出により掲載を見送っています。

一般質問とは・・・

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。

第7回臨時会(8月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	泉守	大蔵久徳	高倉寛視	長澤貞義	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
発議	可決	高倉議員の一般質問に関する調査特別委員会の設置に関する決議案の提出について	○	○	○	-	●	●	○	○	○

第8回定例会(9月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	泉守	高倉寛視	長澤貞義	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
計画	可決	東峰村過疎地域持続的発展計画(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和3年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和3年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	認定	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	可決	「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	可決	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」にかかわる意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	報告	令和2年度株式会社宝珠山ふるさと村決算状況報告	報告議案のため採決は行いません							
動議	可決	令和2年度東峰村一般会計・特別会計歳入歳出決算、決算審査特別委員会の設置について	○	○	●	○	○	○	○	○
	可決	決算審査特別委員会の委員長・副委員長の選出について	○	○	●	○	○	○	○	○

決算審査特別委員会議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	佐々木紀嘉	泉守	高倉寛視	長澤貞義	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
決算	認定	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和2年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○



村道の改修工事にミスがあったのでは ——建設水道課長 土留め工法にて適切に処置はしていた

議員 村道、町・芝峠線の擁壁は補修工事が完了して、あまり長くは経っていないが、今回の雨で地滑りを起こしている。設計にミスがあったのではな
建設水道課長 令和3年8月11日、14日の雨では、村設置の小石原浄水場の雨量計において4日間837ミリを記録するなど、災害採択基準を超過する雨であったため、法面の崩壊が生じたと考えられる。

道の駅前の道路測量について
議員 道路境界の測量をして随分時間も経っているが、村道横の土地が字図上では村となっているが、その土地はこの所有財産になるのか。
建設水道課長 質問のはみ出ている土地は、村の所有地になります。



道の駅前の道路

宝ヶ谷の梨園付近の 河川について

議員 梨園に隣接する林地が多い時には山崩れが発生している。早急に工事は出来ないのか。

災害対策室長 当該箇所は上流部から見て左岸側が梨園樹園地、右岸側が林地となっている。左岸側の梨園側については、平成24年の災害で河川災害として工事を完了している。



梨園付近河川の流木

29年の災害で、大肥側との合流部に流木等が詰まったので撤去しました。
ご指摘のとおり、中流部辺りで右岸側の林地が2ヶ所ほど崩落が発生しており、土砂とか流木が堆積しているが、河川を閉塞するまでは至っていないので、今後も注意深く経緯を観察していきたいと思っています。



生活道路は安全に利用できているか ——建設水道課長 危険箇所は適時対策を実施している

議員 道路整備の優先順位はどうしているか。又、地区内の生活道路は安全に利用できていると思うか。

建設水道課長 村道については危険な箇所から優先的に対応している。

また、通行上支障がある危険な箇所は適時対策をしている。村道以外は、各地区にて適切に管理してもらっていると考えている。

議員 鶴地区だけが回路がない。公民館に行くには危険な国道を通らねばならない。村道久毛線と農道大木線を繋ぐことは出来ないか。また里道の整備は出来ないか。



地区内の生活道路

建設水道課長 歩道設置については各機関に要望し続ける。里道整備については村の補助制度を活用できるので、適時相談をしていただきたい。
村長 地域共同の村づくり基金等利用するとか、道路基盤整備事業補助金の材料支給もある。それらを利用して整備をすることで、役場と協議してもらい整備をしていただきたい。

新旧教育長の引継ぎについて

議員 佐々木前教育長と連絡が取れないと聞いたが本当か。

教育長 連絡もだが引継ぎは出来ていない。今までの経緯をいろんな方、前の校長とかに伺いながら自分なりにやっている。

議員 いまだ連絡が取れず、引継ぎもできていないことは異常事態だ。教育行政は村の宝である子供たちにかかわる大事なことでと思う。佐々木前教育長は令和2年5月26日の臨時議会で長澤議員の質問に対して、色々な問題があるので引継ぎはしたいと答弁をしている。ならば責任の無い行為だと思ふ。服務規定等もあり引継ぎはしなくてはならないのに、佐々木前教育長と連絡が取れずに事務引継ぎ

が出来ていない。縄田教育長だから滞りなく行っているが、この異常事態をいかが考えるか。
村長 引継ぎは必ずやらねば持続性というのが出来ないと思っている。前任者のやりたいこと等引き継がねばならない、いまだ出来ていないという事は教育長と再度協議をしていく。



引継ぎ書イメージ



長澤 貞義 議員

ユーロ円債の裁判費用を請求しないのか

— 村長 訴訟費用は一般的に請求していない

議員 ユーロ円債の運用に対する住民訴訟で3名の住民から裁判が起こされたが、この無駄な裁判によって村は129万円支出しているが、3名の原告に弁護士費用を請求し、高齢者福祉に利用するのが住民の願いに沿うものであり、今後このような意味のない裁判を抑止する効果もあり、また、訴えられた当時の高倉村長と井上副村長の名誉を回復し、人権を尊重する村づくりを推進することになるのではないか。

村長 裁判費用は弁護士費用と訴訟の費用とにわけられ、弁護士費用については負担の対象にならないという回答を得ている。

議員 ユーロ円債、いわゆる仕

組み債はノルウェー地方金融公社の3億円、フィンランド地方金融公社の5億円、合計8億円が運用され平成26年の9月に元金8億円が償還され約6300万円の運用益が村に入りました。当時は近隣の筑前町や飯塚市等かなりの自治体も運用しており、それぞれ運用益が入ったと聞いています。

澁谷村長が運用してきた国債や地方債はおなじ7年間で約2400万円の運用益です。ユーロ円債の運用益が2・5倍以上あったのです。村長になられて8年経過しましたがユーロ円債に対する現在の考えを伺う。



伊藤 均 議員

日田彦山線の復興施策の考え方は

— 村長 振興基金の有効利用を模索していく

議員 村長は10月の村長選挙には出馬しないとのことだが、JR日田彦山線沿線地域の活性化を図るための福岡県が創出した、10億円の振興基金での振興策は今後どうなるのか。

村長 今年度においては、県では10億円の利息分での運用を計画している。東峰村は日田彦山線沿線地域の活性化するために、基金をいかに有効に活用するかを今後進めていく。

議員 10億円の基金は、添田町と東峰村の振興のための基金だが活用期限はあるのか。

村長 沿線の振興策については、

具体的な考えを含めて引き継ぎは行う。基金の期限の考え方は、県の基金であるのでわからないが、添田町とも協議をしながら短期間に投資して、一日も早く達成していきたいと考えている。また、基金をいかに有効利用して村の活性化を図るかを模索していく。



JR岩屋駅

村長 公金はあくまでも安全、元本保証、そういった運用の仕方をしていかねばならないということで、運用指針の改定等を行っている。

議員 議会に配布されている決算書には、基金の前年度末残高、決算年度中増減額、決算年度末現在高は一覧として記載されているが、それぞれの基金をどのように運用しているのかはわからない。

基金が運用している債券や預金の種類、利率、運用実績、及び活用状況を村民に報告するのが村政の基本だと思うが、ぜひ基金の運用状況等を議会に説明してもらい、村民の皆さまに情報提供していただきたい。

地域交通政策について

議員 地域交通政策の中で、デマンドバス・地域巡回バス等があるが、地域交通施策の基本的考え方はどうか。

村長 スマホ等を使った利用や脱炭素のことも考慮しながら、利用者の皆さんが利用しやすい地域交通・費用のかからない地域交通が重要だと考えている。

また、日田彦山線、西鉄バスとの連携も考慮しながら村民が利用しやすい地域交通を実現していかねければならないと思っている。

高齢者への

生活支援について

議員 高齢者へのごみ出し支援事業での予算執行状況は。

住民税務課長 平成28年から募集を行ってきたが、現在まで応募はない。

村長 議会の皆さま方からの要望であれば、開示をさせていただきたい。



資産運用イメージ

議員 高齢者の生活支援において、可燃物のごみ出し支援の申請者が少ないとのことだが、資源ごみ回収においても手助けが必要な高齢者が増えてきていると思うが、支援策は検討できないか。

村長 ゴミ出し支援については、近隣の方が手伝っているから苦情が来ていないのだと思う。集落支援員や社会福祉協議会の生活応援事業で、現在支援を行っている。再度、区長・集落支援員・社会福祉協議会と連絡を取り早急に対応したい。



かご回収

小石原川ダムが完成しました

小石原川ダムは、洪水被害の軽減、水道用水の供給、河川環境の保全や渇水対策の水供給を目的として計画され、平成28年4月からダム本体工事に着手し令和3年3月に完成しました。

ダムはロックフィルダム型式で、九州最大の堤高139mを誇り、総貯水容量4,000万 m^3 となっています。

今後は、寺内ダム、江川ダム、小石原川ダムの3ダム（3つの湖）を活かした地域活性化に向けた取り組みが期待されています。



編集後記

鮮やかに実った稲の取入れも終わり一段落。今年の出来は如何だったでしょうか。

新型コロナウイルスとの戦いもまだまだ続き、3回目のワクチン接種も今後予定されているようです。

10月の補欠選挙で議会も新しく2名の議員も加わり新体制となりますが、これまで同様に村民の皆さんと共により良い村作りに向けて、努力してまいりますのでよろしくお願いたします

議会広報特別委員	委員長	伊藤 均
副委員長	黒川 隆康	委員
梶原 光春	梶原 伯夫	発行責任者
議長	佐々木 紀嘉	